

2001 年春季年会

年会プログラム

於 千葉大学

2001 年 3 月 26 日 (月) ~ 3 月 28 日 (水)

日本天文学会

日本天文学会 2001 年春季年会プログラム

場 所 千葉大学 (案内図参照)

〒 263-8522 千葉市稲毛区弥生町 1-33

電 話・FAX 090 - 4387 - 6893 <使用期間 2001 年 3 月 25 日 (日) ~ 3 月 28 日 (水) >

日 程

時刻	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
月日	会場	分 野								
3月25日 (日)	B				記者会見	公開講演会 (一般対象)				
3月26日 (月)	A	Y. 教育/Q. 星間	昼 休 み	ポ ス タ ー	ジ ュ ニ ア セ ッ シ ョ ン	天 文 教 育 フ ォ ー ラ ム	ALMA 特別セッション			
	B	A. シミュレーション								
	C	L. 太陽系								
	D	S. 銀河核								
	E	T. 銀河団								
	F	N. 恒 星								
	G	V. 地上観								
3月27日 (火)	A	Q. 星 間	(評 議 員 会) 昼 休 み	ポ ス タ ー / ビ ジ ネ ス ア ワ ー	ポ ス タ ー	Q. 星 間	総 会	研 究 奨 励 賞 受 賞 記 念 講 演	懇 親 会	
	B	A. シミュレーション				B. 銀河形成				
	C	L. 太陽系/J. 位置 K. 天力/X. 情報				W. 飛翔観				
	D	S. 銀河核				R. 銀 河				
	E	T. 銀河団/M. 太陽				M. 太 陽				
	F	N. 恒 星				N. 恒 星				
	G	V. 地上観				V. 地上観				
3月28日 (水)	A	P. 星形成	(理 事 会) 昼 休 み	ポ ス タ ー / ビ ジ ネ ス ア ワ ー	ポ ス タ ー	P. 星形成				
	B	B. 銀河形成/U. 宇宙論				U. 宇宙論				
	C	W. 飛翔観				W. 飛翔観				
	D	R. 銀 河				R. 銀 河				
	E	M. 太 陽				M. 太 陽				
	F	N. 恒 星				N. 恒 星				
	G	V. 地上観				V. 地上観				

A 会場 : 総合校舎G号館 (G10)
 B 会場 : 総合校舎G号館 (G20)
 C 会場 : 総合校舎H号館 (H51)
 D 会場 : 総合校舎H号館 (H52)
 E 会場 : 法経学部 (206 講義室)
 F 会場 : 法経学部 (106 講義室)
 G 会場 : 法経学部 (105 講義室)

受 付 : 総合校舎H号館ロビー (9:00 から)
 ポスター会場 I : 総合校舎 A 号館 2 階 (大会議室)
 " II : 学生会館 2 階 (ホール・軽食室)
 懇 親 会 場 : 学生会館 1 階 (第二食堂)
 ビジネスアワー :
 ビジネスアワーには、集会や会合を開く
 ことができます。

◎講演数・参加費用

講演数：合計 446

(口頭講演 (a)：254、ポスター講演 (b)：154、ポスター講演 (c)：38)

基本登録料：会員 3,000 円、非会員 5,000 円 (1 講演分の講演登録料を含む)

追加講演登録料：3,000 円 (追加 1 講演につき)

年会予稿集：2,000 円 (購入希望者のみ)

※基本登録料・追加講演登録料は、会期中に受付にて忘れずにご納付下さい。

◎講演に関する注意

1. 口頭発表は 7 会場で併行して行います。口頭講演 (添字 a) は、口頭発表 10 分、質疑応答 5 分です。ポスター講演 (添字 b) は、口頭発表 3 分、4 講演で 15 分を割り当て、座長の判断で質疑応答を行います。名前の直前に○印のある著者が講演者です。

※時間厳守：講演制限時間を超過した場合は、直ちに降壇していただきますので、講演者の皆様は制限時間を厳守できるよう特に万全の準備をお願いします。

2. ポスター発表 (添字 b)、(添字 c) は、3 日間掲示できます。ポスターは縦 180 × 横 90 cm まで掲示できます。ポスター会場の指定された場所に、3 月 26 日の 9:00 から 3 月 28 日の 15:00 まで掲示できます。終了後は速やかに撤去してください。
3. 講演には OHP をご使用下さい。(ビデオ、液晶プロジェクターの使用については、事前に申し込みが必要です。)

◎会期中の行事

1. 記者会見：25 日 (日) 13:00～ けやき会館第二会議室

学会講演の中から、3～4 のトピックスを選び、記者会見を行います。

2. 公開講演会：25 日 (日) 14:00～17:00 けやき会館大ホール
3. ジュニアセッション：26 日 (月) 14:00～15:30 G 会場
4. 天文教育フォーラム：26 日 (月) 15:30～17:00 G 会場
5. ALMA 特別セッション：26 日 (月) 17:00～19:00 G 会場
6. 評議員会：27 日 (火) 12:00～13:00 会議室
7. 総会：27 日 (火) 16:30～18:00 G 会場

主な議題 = ○ 2000 年度事業報告

○ 2000 年度収支決算報告・監査報告

8. 研究奨励賞受賞記念講演：27 日 (火) 18:00～18:30 G 会場
9. 懇親会：27 日 (火) 19:00～ 第二食堂
10. 理事會：28 日 (水) 12:00～13:00 会議室

◎第2回ジュニアセッション

主催：日本天文学会 共催：天文教育普及研究会
後援：日本惑星協会、千葉県教育委員会、千葉市教育委員会、千葉大学（予定を含む）

日時・場所：2001年3月26日（月）14：00～15：30 G会場（法経学部 105 講義室）
（ポスター発表は年会会期中ポスター会場にて）

◎天文教育フォーラム（天文教育普及研究会と共催）

日時・場所：2001年3月26日（月）15：30～17：00 G会場（法経学部 105 講義室）

概 要： 最近、小中高校のクラブ活動や大学の実習、公開天文台の事業などで、天文の学習活動の機会が増えています。また、少年団などの社会教育団体でも積極的に学習活動を行っています。

初等中等教育においては体験学習が重視されるとともに、題材を柔軟に選択して子どもたちの興味・関心・意欲の喚起や思考力の養成を目指す「総合的な学習の時間」が本格的に導入されようとしています。これに対応して、社会教育施設と学校との連携が重視されるようになってきました。また研究機関や大学の研究室にも学校から問合せがあるなど、「総合的な学習の時間」導入に伴う動きが始まっているようです。

昨今のこのような状況は、総合的な学習の時間を含めた学校教育や大学教育、社会教育団体における天文学習活動の 置づけを見据えつつ、天文コミュニティとして、21世紀初頭の天文教育 や普及活動にどのように関わっていくかを探る良い機会として捉えることができます。

そこで今回のフォーラムでは、特に天文の課外学習活動の現状を紹介するとともに、公開天文台や科学館などの社会教育施設や社会教育団体が課外学習活動に たり得る役割、天文コミュニティの関わり方について、次の時代に向けての実りある実践に結びつくような議論を行いたいと思います。

進 行：

基調講演（各 15 分）

- ・吉川 真（日本スペースガード協会／宇宙科学研究所）
美星スペースガードセンターの画像データを活用した小惑星探し
- ・浜根寿彦（県立ぐんま天文台）
公開天文台と学校教育現場の連携 — 公開天文台における複数校の合同観測
- ・五島正光（巣鴨中高等学校）、新井達之（葛飾区郷土と天文の博物館）
博物館の太陽望遠鏡を使った太陽観測
- ・他

質疑応答／討論（30 分）

参 加 費：年会会期中の行事ですが、＜天文教育フォーラムのみの参加者＞は参加費（年会基本登録料）不要です。年会受付で「天文教育フォーラムのみに参加します」とお伝えください。

実 行 委 員：浜根寿彦（県立ぐんま天文台）、高橋 淳（ミュージアムパーク茨城県自然博物館）、山縣朋彦（文部省）、吉川 真（宇宙科学研究所）

問い合わせ先：浜根寿彦（hamane@astron.pref.gunma.jp）

◎ ALMA 特別セッション「ALMA で探る宇宙」

主催： 日本天文学会
日本学術会議 天文学研究連絡委員会
国立天文台電波専門委員会 ALMA(LMSA) 計画推進小委員会

日時・場所 : 2001年3月26日(月) 17:00～19:00 G会場(法経学部 105 講義室)
概要 : 昨年10月にパリで開催されたALMA調整会議(ACC)においてALMA(Atacama Large Millimeter / Submillimeter Array)計画を日米欧3者の枠組みで進めることが合意され、これまで日本の計画として推進されてきた大型ミリ波サブミリ波干渉計(LMSA)は、画期的な3極対等の国際協力によるプロジェクトALMAとして、その実現を目指すことになりました。

本特セッションでは、ALMA計画の最新の進捗状況を報告するとともに、3者ALMAで実現される高感度、高空間分解能、サブミリ波という周波数の窓、がどのような新展開をもたらすかを考えます。今回はALMAのキーサイエンスのひとつである星・惑星系形成を具体例として取り上げ、講演者のお一人として、宇宙化学の世界的な権威でありALMA科学諮問委員会(ASAC)の次期委員長であるライデン大学のEwine van Dishoeck教授をお迎えしました。総合討論の時間の一部を使って、運用体制・研究体制の議論も始めたいと考えます。幅広い分野の研究者の皆さんのご参加をお待ちしております。

プログラム :

- ・イントロダクション 石黒正人 教授(国立天文台)
- ・講演 Ewine van Dishoeck 教授(オランダ・ライデン大学)
- ・講演 観山正見 教授(国立天文台)
- ・総合討論

世話人 : 立松健一、長谷川哲夫(国立天文台電波天文学研究系)

◎日本天文学会公開講演会(千葉県教育委員会、千葉市教育委員会、千葉大学後援)

テーマ : 「21世紀の天文学」

日時 : 2001年3月25日(日) 14:00～17:00(13:30開場)

場所 : 千葉大学 けやき会館

対象 : 中学生以上・一

講演 I : 「暗黒の宇宙に光をあてる: アンデス巨大電波望遠鏡ALMA(アルマ)」

講演者 : 国立天文台・教授 長谷川哲夫

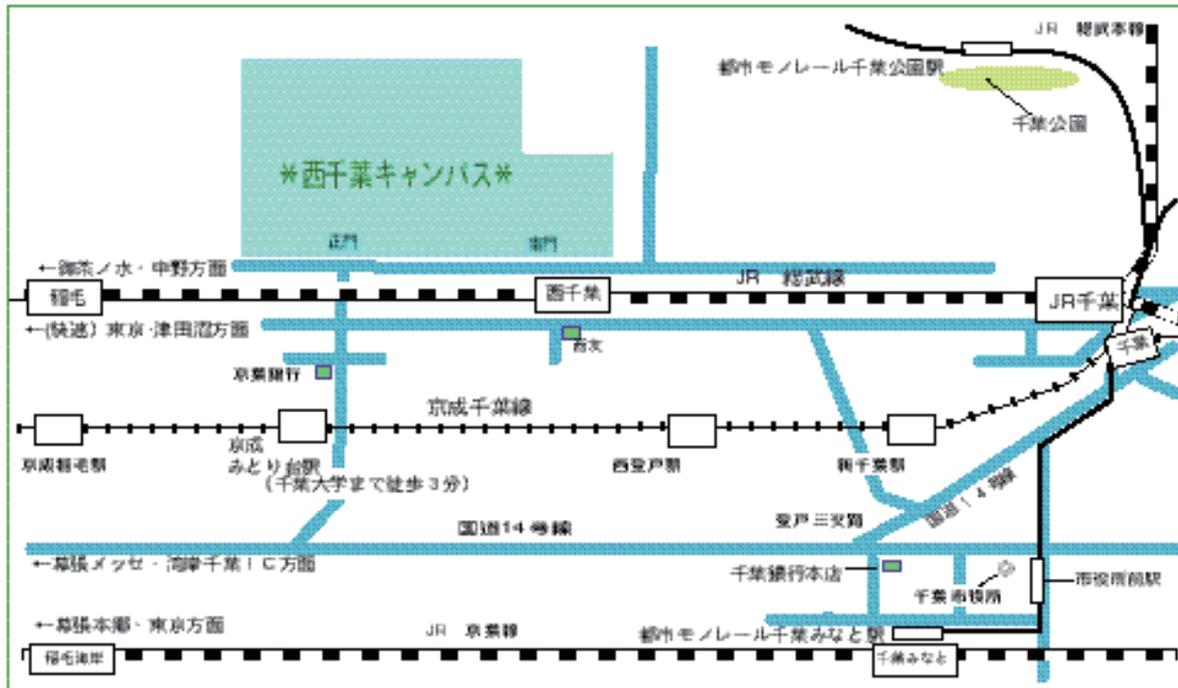
講演 II : 「宇宙が発する声を聞きたい: 重力波天文学への挑戦」

講演者 : 国立天文台・教授 藤本真克

※入場無料、事前の参加申し込みは不要です。当日ご自由においで下さい。

ただし、会場の都合で入場を制限する場合がございますので、早めにご来場下さい。

春季年会会場（千葉大学）のご案内



交通機関のご案内

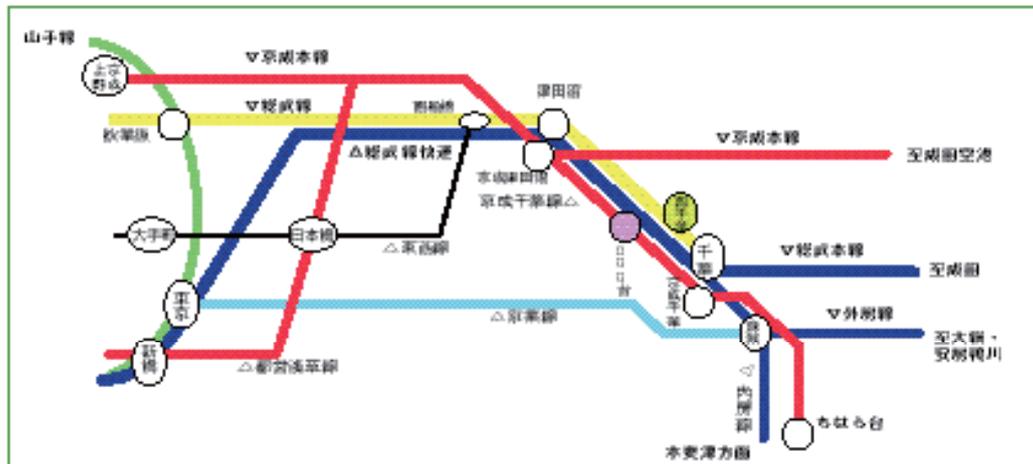
総武線(各駅停車) 西千葉駅下車 徒歩1分

- ◆東京駅から 快速（総武本線、外房線、内房線）→ 稲毛 【所要時間 約40分】
- 稲毛駅で乗り換え（総武線各駅停車で一駅）→ 西千葉 【所要時間 2分】
- ◆（総武線各駅停車のみ利用）御茶ノ水 → 西千葉 【所要時間 約50分】

千葉線 みどり台駅下車 徒歩3分

- ◆京成上野駅から 京成本線(特急：普通料金と同額) → 京成津田沼 【所要時間 34分】
- 京成津田沼駅で乗り換え（京成千葉線）→ みどり台 【所要時間 12分】

学内に駐車場はありません。西千葉、みどり台から至近ですので電車をご利用ください。



※ 「えきから時刻表」 <http://eki.joy.ne.jp/>

※ JR東日本ホームページ <http://www.jreast.co.jp/>

※ 京成電鉄時刻表 <http://www.keisei.co.jp/keisei/tetudou/time/index.html>

年会会場案内図

千葉大学

----- 西千葉キャンパスマップ -----



0 100 200m



理学部校舎工事中2001年夏完成予定

北門

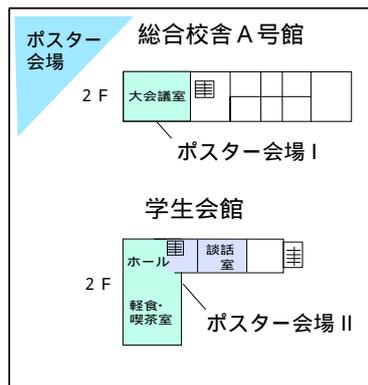
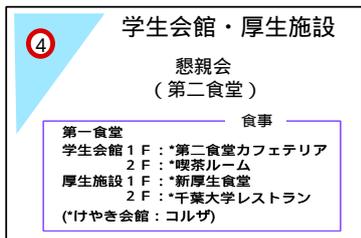
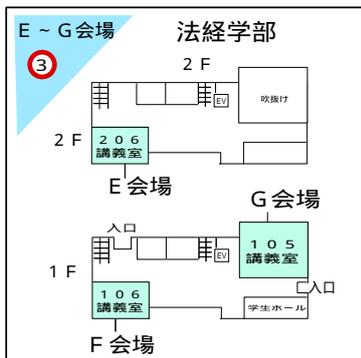
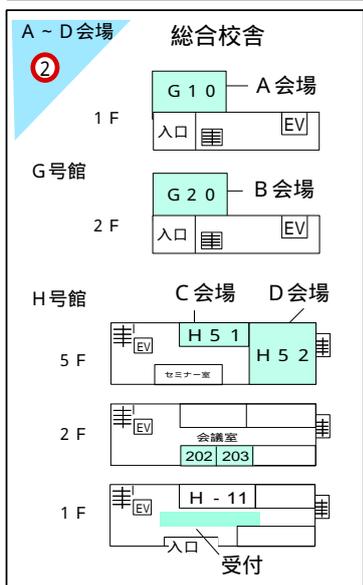
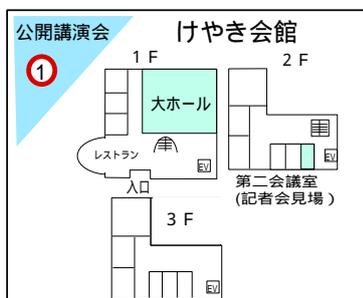
- 5 大学院自然科学研究科
- 6 理学部
- 7 千葉大学付属図書館
- 8 大学事務局・保健管理センター
留学生センター
- 9 工学部
- 10 分析センター
教育学部附属教育実践総合センター
- 11 総合情報処理センター
- 12 薬学部
- 13 教育学部
- 14 文学部
- 15 大学院文学研究科・社会科学研究科
- 16 大学院社会文化科学研究科
- 17 教育学部附属中学校
- 18 教育学部附属小学校
- 20 環境リモートセンシング研究センター
- 21 電子光情報基盤技術研究センター
- 22 共同研究推進センター
- 23 ゲストハウス
- 24 教育学部附属幼稚園
- 25 アイソトープ総合センター

正門

京成みどり台駅

南門

J R 西千葉駅



- : 会場
- : 学内各施設

口頭セッション 3月26日(月)

時刻	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場	F会場	G会場
10:00	【教育】 Y01a	【シミュレーション】 A01a	【太陽系】 L01a	【銀河核】 S01a	【銀河団】 T01a	【恒星】 N01a	【地上観】 V01a
10:15	Y02b, Y03b Y04b, Y05b	A02a	L02a	S02a	T02a	N02a	V02a
10:30	Y06b, Y07b Y08b, Y09b	A03a	L03a	S03a	T03a	N03a	V03a
10:45	Y10b	A04a	L04a	S04a	T04a	N04a	V04a
11:00	【星間】 Q01a	A05a	L05b, L06b L07b, L08b	S05a	T05a	N05a	V05a
11:15	Q02a	A06a	L09b, L10b	S06a	T06a	N07a	V06a
11:30	Q03a	A07a	L13a	S07a	T07b, T08b T09b, T10b	N08a	V07b, V08b V09b, V10b
11:45	Q04a	A08a	L14a	S08b, S09b S11b, S12b	T11b, T12b T13b, T14b	N09b, N10b N11b, N12b	V11b, V12b
12:00	Q05b, Q06b Q07b, Q08b			S13b, S14b		N13b	
13:00	昼休み						
14:00	ポスター						
15:30	ジュニアセッション						
17:00	天文教育フォーラム						
19:00	ALMA特別セッション						

口頭セッション 3月27日(火)

時刻	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場	F会場	G会場	
	【星間】	【シミュレーション】	【太陽系】	【銀河核】	【銀河団】	【恒星】	【地上観】	
09:30	Q09a	A09b, A10b A11b, A12b	L16a	S15a	T15a	N14a	V14a	
09:45	Q10a	A13a	L17a	S16a	T16a	N15a	V15a	
10:00	Q11a	A14a	K01a	S17a	T17a	N16a	V16a	
10:15	Q12a	A15a	K02a	S18a	T18a	N17a	V17a	
10:30	Q13a	A16a	K03a	S19a	T19a	N18a	V18a	
10:45	Q14a	A17a	K04a	S20a	M01a	N19a	V19a	
11:00	Q15a	A18a	J01a	S21a	M02a	N20a	V20a	
11:15	Q16a	A19a	K05b, K07b X01b, X02b	S22a	M03b, M04b M05b, M06b	N21a	V21a	
11:30	Q17a	A20a		S23a	M07a	N22b, N23b N24b, N26b	V22b, V23b V24b, V25b	
11:45	Q18b, Q19b Q20b	A22b, A23b A24b, A25b		S24a	M08a	N27b, N28b N29b, N31b	V26b, V27b	
12:00		A26b	昼休み					
13:00	ポスター							
	【星間】	【銀河形成】	【飛翔観】	【銀河】	【太陽】	【恒星】	【地上観】	
14:30	Q21a	B01a	W01a	R01a	M09a	N32a	V33a	
14:45	Q22a	B02a	W02a	R02a	M10a	N33a	V34a	
15:00	Q23a	B03a	W03a	R03a	M11a	N34a	V35a	
15:15	Q24a	B04a	W04b, W05b W06b, W07b	R04a	M12b, M13b M14b	N35a	V36a	
15:30	Q25a	B05a	W09a	R05a	M15a	N36a	V37a	
15:45	Q26a	B06a	W10a	R06b, R07b R08b	M16a	N37a	V38a	
16:00	Q27a	B07a	W11a	R10a	M17a	N38a	V39b, V40b V41b, V42b	
16:15	Q28b, Q29b Q30b	B08a	W12b, W13b W14b, W15b	R11a	M18a	N39b, N40b N41b, N42b	V43b, V44b V45b, V46b	
16:30	総会							
18:00	研究奨励賞受賞記念講演							
18:30	研究奨励賞受賞記念講演							

口頭セッション

3月28日(水)

時刻	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場	F会場	G会場
	【星形成】	【銀河形成】	【飛翔観】	【銀河】	【太陽】	【恒星】	【地上観】
09:30	P01a	B09a	W16a	R12a	M19a	N43a	V47a
09:45	P02a	B10a	W17a	R13a	M20a	N44a	V48a
10:00	P03a	B11a	W18a	R14a	M21a	N45a	V49a
10:15	P04a	B12a	W19a	R15a	M22a	N46a	V50a
10:30	P05a	B13a	W20a	R16a	M23a	N47a	V51a
10:45	P06a	B14b, B16b B17b, B18b	W21a	R17b, R18b R19b, R20b	M24a	N48a	V52a
11:00	P07a	B21b	W22a	R21b, R22b R23b, R24b	M25a	N49a	V53a
11:15	P08a	【宇宙論】 U01b, U02b U03b, U04b	W23b, W24b W25b, W26b	R25b, R27b R28b, R29b	M26a	N50a	V54a
11:30	P09b, P10b P11b, P12b	U08a	W27b, W28b W30b	R30a	M27a	N51a	V55a
11:45	P13b	U09a		R31a	M29b, M30b M31b, M32b	N52b, N53b N54b, N55b	V56b, V57b V58b, V59b
12:00		U10a				N56b, N59b	
13:00	昼休み						
	ポスター						
	【星形成】	【宇宙論】	【飛翔観】	【銀河】	【太陽】	【恒星】	【地上観】
14:30	P14a	U11a	W31a	R32a	M33a	N60a	V62a
14:45	P15a	U12a	W32a	R33a	M34a	N61a	V63a
15:00	P16a	U13a	W33a	R34a	M35a	N62a	V65a
15:15	P18a	U14a	W34a	R35a	M36a	N63a	V66a
15:30	P19a	U15a		R36a	M37a	N64a	V67a
15:45	P20a	U16a		R37a	M38a	N65a	V68a
16:00		U17a				N66a	V69a
16:15		U18a					V70a

<会場Ⅰ>

【位置天文学】

【天体力学】

K05b, K06c, K07b

【太陽系】

L05b, L06b, L07b, L08b, L09b, L10b,
L11c, L12c, L15c

【地上観測機器】

V07b, V08b, V09b, V10b, V11b, V12b,
V13c, V22b, V23b, V24b, V25b, V26b,
V27b, V28c, V29c, V30c, V31c, V32c,
V39b, V40b, V41b, V42b, V43b, V44b,
V45b, V46b, V56b, V57b, V58b, V59b,
V60c, V61c, V64c

【飛翔体観測機器】

W04b, W05b, W06b, W07b, W08c, W12b,
W13b, W14b, W15b, W23b, W24b, W25b,
W26b, W27b, W28b, W29c, W30b

【情報処理】

X01b, X02b

【天文教育・その他】

Y02b, Y03b, Y04b, Y05b, Y06b, Y07b,
Y08b, Y09b, Y10b, Y11c

<会場Ⅱ>

【大規模シミュレーション】

A09b, A10b, A11b, A12b, A21c, A22b,
A23b, A24b, A25b, A26b, A27c

【銀河形成】

B14b, B15c, B16b, B17b, B18b, B19c,
B20c, B21b

【太陽】

M03b, M04b, M05b, M06b, M12b, M13b,
M14b, M28c, M29b, M30b, M31b, M32b

【恒星】

N06c, N09b, N10b, N11b, N12b, N13b,
N22b, N23b, N24b, N25c, N26b, N27b,
N28b, N29b, N30c, N31b, N39b, N40b,
N41b, N42b, N52b, N53b, N54b, N55b,
N56b, N57c, N58c, N59b

【星形成】

P09b, P10b, P11b, P12b, P13b, P17c,
P21c, P22c, P23c

【星間現象】

Q05b, Q06b, Q07b, Q08b, Q18b, Q19b,
Q20b, Q28b, Q29b, Q30b, Q31c

【銀河】

R06b, R07b, R08b, R09c, R17b, R18b,
R19b, R20b, R21b, R22b, R23b, R24b,
R25b, R26c, R27b, R28b, R29b

【活動銀河核】

S08b, S09b, S10c, S11b, S12b, S13b,
S14b

【銀河団】

T07b, T08b, T09b, T10b, T11b, T12b,
T13b, T14b

【宇宙論】

U01b, U02b, U03b, U04b, U05c, U06c,
U07c

【ジュニアセッション】